



水戸市の内原小学校4年・永作愛斗君(10)＝写真＝がこのほど、東京で開かれたダンスの全国コンクール「ダンス・クリエーション・

アワード」ジュニアA部門で準優勝した。同コンクールは、「新しいダンス文化の創造」を願って毎年開催されるもの。バレエ、ジャズダンス、ヒップホップダンスなどジャンルを超えて競技するのが特徴。永作君の演目は「DOLL」で、得意のジャズダンスを前面に出した内容だった。永作君は、母親の影響でダンスを始めて5年。サッカー少年団でも活躍するスポーツ少年。「将来は世界で活躍するダンサーになりたい」と。